

# 島っ子だより

## 大島小 6年生の主張

前回、平戸市少年の主張大会に出場した〇〇〇〇さんの作文を紹介しました。今回は、他の6年生二人の作文を紹介します。どちらも大島への思いあふれる素晴らしい主張です。

### みんなの海を守りたい

〇〇 〇〇

「きれいな海をいつまでも残したい」

僕がこう思ったのは、5年生のときに受けた社会の授業です。そのときに、沖縄のサンゴが白化していると知りました。その原因は人間がより便利な生活を追い求めたためだと思います。

地球温暖化や海洋汚染など、今、世界中の海は大きな問題を抱えています。現時点でこれほど汚染が進んでいるのなら、僕が大人になったときにはどうなっているのだろうと考えると、とても心配になりました。

僕は、的山大島に住んでいます。大島は、自然が豊かで魚がたくさんいます。新鮮な海の幸は僕が小さいときから身近にあり、僕の大好きな食べ物の一つです。そんな大好きな海をいつまでも守るためにはどうしたらいいのかを知りたくて、現在の海の環境について詳しく調べてみました。調べていくと、海を汚す3つの原因が分かりました。1つ目は、「50年後には、魚の量よりゴミの量のほうが多くなる」ということです。このゴミの大半を占めるのが、海洋プラスチックと言われるものです。もし、このままプラスチックごみが捨てられ続けると海が更に汚れ、魚の住む場所がなくなったり、ウミガメが産卵できずに絶滅してしまうかもしれません。

2つ目は、「釣り」です。釣りは楽しいイメージがほとんどだと思いますが、釣りの途中に出たゴミを海に捨てたり、釣って傷つけた魚を海にリリースしたりする現状があります。僕が住む大島でも、傷ついたカマスが死んで海に浮いていたり、腐って沈んだりしているのを見たことがあります。

3つ目は生活排水です。下水処理場のない地域では、家庭から出た汚れた水を海へそのまま流していることが多いです。実際に大島でもそのようにしている家庭があります。これはいけないと思います。

このように、現状では海の環境を守れていないことが分かります。でも、自分たちにできることもあるはずです。ポイ捨てをしないことや、ゴミを出したら必ず持ち帰ること、排水をできるだけきれいに流すことなど、一人一人ができることは小さくても、みんなで協力すれば大きな力になると思います。「きれいな海をいつまでも残したい」この気持ちを持ち続け、海と共に生きていきたいです。大好きな海と。

## 故郷を永遠に

〇〇 〇〇

「20年後、私の故郷の大島はどうなっているのだろう。」

私は、去年と今年の大島の人口を比べてそう思いました。今年の大島の総人口は896人で去年は924人。たった1年間で28人も人が減っていることがわかりました。このペースで人口減少が続いていくと、20年後、私の大好きな大島村は存在しなくなるのではないかと不安になりました。

そこで、人口が減少している要因を考えてみました。1つ目は、島外での仕事に就いたために引っ越す人が増えたのではないかと思います。島内で仕事がなくなっているからこそ起きることだと思います。2つ目は、高校がなくなったことだと考えました。以前の大島には、猶興館大島分校があり、島外への高校に進学しなくてもよかったのですが、現在は高校がなくなり、高校へ進学するためには必ず島外に出なくてはならなくなりました。勉強や部活が忙しい高校生にとっては、大島と高校を行き来することが大変なため、下宿やアパート住まいになってしまうことも人口減少へつながっていると思います。

私の考えの真偽を確かめるためにインターネットで調べてみると、私が考えていた通り、10代～20代後半の若い世代が仕事のために転出していることが、大島の人口が減っていく原因として挙げられていました。実際に、私のいとこも高校を卒業したあとに、就職のために市外へ引っ越していきました。就職を知ったときに「すごいな」と思ったのですが、今考えてみると、この現象が人口が減ることにつながっているんだと思いました。

1年後に28人も減っていると、27年後には大島は無人島になっているかもしれません。だから、故郷の大島を守るためにすべきことを2つ考えました。

1つ目は、仕事ができる場所を増やすことです。土地がなかったり費用の問題があったりするため、実現は難しいかもしれませんが、ですが、島内に十分に選択できたり給料をもらえたりする職場があれば、島外へ出て行く必要もありません。この実現のために大島の良さを見直したり、一人一人が心がけたりすることで人口減少がストップできるかもしれないと考えました。

2つ目は、ポイ捨てをしないことです。ポイ捨てをすると当然町が汚れます。それにより、島に憧れて移住を希望してくる人や観光者たちが少なくなるかもしれません。それどころか、「汚れた島には住みたくない」と、地元の人ですら島を離れてしまうかもしれません。そうならないように、みんなの意識を高めていきたいと思います。

この2つのことで、島の人口が増えるのではないかと思います。高校がなくなった理由も入学者が減ったことが原因と言われています。私は、この大島、平戸市が20年後、30年後もずっと残っていけるように、平戸市に住む人々が住みやすい市をつくってほしいです。

### 7月の主な行事予定

1日(月) 全校朝会	11日(木) 水泳参観
2日(火) 学校保健委員会	12日(金) クラブ活動
4日(木) 3・4年生浄水場見学	16日(月) 5・6年生による読み聞かせ
8日(月) 地区児童会	19日(金) 終業式

